(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2012-125541
(P2012-125541A)
(43)公開日　平成24年7月5日(2012.7.5)

(51)Int.Cl.		F I		テーマコード（参考）
D06F 57/08	(2006.01)	D06F 57/08	Z	
D06F 53/00	(2006.01)	D06F 53/00	B	
D06F 53/02	(2006.01)	D06F 53/02		

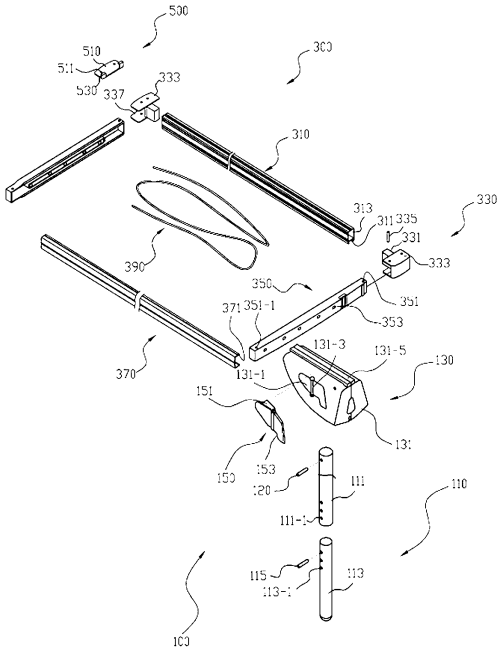
審査請求 有　請求項の数 5　ＯＬ　（全 9 頁）

(21)出願番号　特願2011-115764 (P2011-115764)
(22)出願日　平成23年5月24日 (2011.5.24)
(31)優先権主張番号　10-2010-0126104
(32)優先日　平成22年12月10日 (2010.12.10)
(33)優先権主張国　韓国 (KR)
(31)優先権主張番号　10-2010-0126100
(32)優先日　平成22年12月10日 (2010.12.10)
(33)優先権主張国　韓国 (KR)

(71)出願人　511126154
チョ，サンイン
大韓民国　ソウルーシ，ソチョーグ，バンポードン７８２，バンポ　アパート，５８－４０５
(74)代理人　100091683
弁理士　▲吉▼川　俊雄
(72)発明者　チョ，サンイン
大韓民国　ソウルーシ，ソチョーグ，バンポードン７８２，バンポ　アパート，５８－４０５

(54)【発明の名称】洗濯乾燥台

(57)【要約】
【課題】本発明は、乾燥部の両側に「くの字」形状で締結された脚を内側に互いに重なるように折り畳めるようにし、乾燥台を脚部と水平になるように折り畳めるようにして、本発明の体積を最小化して狭い空間にも保管できるようにすると共に、脚と乾燥部を折り畳むことによってベランダまたは庭から室内への移動を簡便にできるようにした洗濯乾燥台を提供する。
【解決手段】
本発明に係る洗濯乾燥台は洗濯物を乾燥する時、所定の高さをなして洗濯物が地面に触れることを防止する脚部；脚部１００の上部に締結され、ハンガー紐が締結され、洗濯物をかけて乾燥できるようにした乾燥部；および脚部と乾燥部を締結してなる洗濯乾燥台を壁面にかけて保管できるようにした掛け具；を含むことを特徴とする。
【選択図】図２



【特許請求の範囲】
【請求項１】
洗濯物を乾燥する時、所定の高さをなして洗濯物が地面に触れることを防止する脚部；
脚部の上部に締結され、ハンガー紐が締結され、洗濯物をかけて乾燥できるようにした乾燥部；
脚部と乾燥部を締結してなる洗濯乾燥台を壁面にかけて保管できるようにした掛け具；および
乾燥部にかぶせて唐辛子などを干すようにした乾燥網を含むことを特徴とする洗濯乾燥台。
【請求項２】
脚部は、洗濯物を乾燥する時に「くの字」形状で広げられて乾燥部を支持するものであり、高さを調節できるように中空管を多段で連結するが、複数の孔を貫通するように形成した後、固定ピンを利用して固定、すなわち、第１段脚から第２段脚を引き出して高さを調整するが、第１、２段脚に形成された孔を一致させた後、固定ピンを孔に挿入して両脚を固定して高さを調節することができ、脚固定部に一端が締結片を介して締結され、締結片を基点に回動して折り畳むことができる脚；
締結部材が挿入される締結孔が形成され、締結孔の外側にはヒンジが備えられ、締結部材が締結されて回動する胴体部からなる脚固定部；および
胴体部の形成されたヒンジに加圧して締結され、胴体部に締結された脚の引き出しを制御するものであり、一部突出した突出部が下向く脚を支持して下を向かないようにし、解除時には締結部材のプッシュ部を加圧すれば、ヒンジを基点に回動して突出部が胴体部から離脱すると同時に、支持していた脚から離脱して脚が下向きに引き出されるようにする締結部材；を含むことを特徴とする、請求項１に記載の洗濯乾燥台。
【請求項３】
乾燥部は、脚部の上部に締結され、ハンガー紐が備えられ、洗濯物をかけて乾燥できるようにするものであり、
脚固定部に形成された締結突起にスライディングして挿入可能になるように締結レールが形成され、中央に固定ブロックを挿入可能になるように挿入孔が備えられた中央フレーム；
中央フレームに挿入されて横フレームを連結するものであり、「Ｔ」形状で形成され、突出部は中央フレームの挿入孔に挿入されて固定され、翼部には各々横フレームがヒンジを介して締結され、ヒンジを基点に回動して折り畳まれるようにする固定ブロック；
一端には、固定ブロックにヒンジを介して締結されるように孔が形成され、一面には、複数の長孔が形成され、ハンガー紐を貫通させて連結し、洗濯物をかけて乾燥できるようにし、他端にも、孔を形成して、縦フレームを締結できるようにした横フレーム；および
横フレームの一端に締結されるが、締結突起が形成され、横フレームに形成された孔に挿入され、孔において回動して、横フレームと同じように折り畳まれる縦フレーム；で構成され、
固定ブロックにヒンジを介して横フレームを締結し、横フレームの他端に締結突起を介して縦フレームを締結した後、横フレームを前方へ押せば、固定ブロックにヒンジで締結された横フレームの一端がヒンジを基点に回動すると同時に、横フレームの他端に締結突起を介して締結された縦フレームが孔において回転して前方に前進しながら折り畳まれることを特徴とする、請求項１に記載の洗濯乾燥台 。
【請求項４】
掛け具は、前記洗濯乾燥台を折り畳んだ後に壁面にかけて保管できるようにするものであり、壁面に固定部材（図示せず）を介して固定できるように締結孔が形成された胴体部と、胴体部を延長するが、上部に折り曲げて固定ブロックの翼部に形成された掛け突起が載置する載置部とからなり、掛け具を胴体部に形成された締結孔を介して固定部材（図示せず、ネジ、クギなど）で壁面に固定し、使用が終わった洗濯乾燥台を折り畳んだ後、翼部に形成された掛け突起を掛け具の形成された載置部に締結して洗濯乾燥台を壁面に保管

できるようにすることを特徴とする、請求項１に記載の洗濯乾燥台。
【請求項５】
乾燥部を脚固定部から分離した後、乾燥網をかぶせ、底に敷いて乾草などを干すことができるようにすることを特徴とする、請求項１に記載の洗濯乾燥台。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、洗濯乾燥台に関し、より詳しくは、乾燥部の両側に「くの字」形状で締結された脚を内側に互いに重なるように折り畳めるようにし、乾燥台を脚部と水平になるように折り畳めるようにして、本発明の体積を最小化して狭い空間にも保管できるようにすると共に、脚と乾燥部を折り畳むことによってベランダまたは庭から室内への移動を簡便にできるようにした洗濯乾燥台に関する。
【背景技術】
【０００２】
一般的に多く使われている洗濯乾燥台は複数のハンガーが横方向に設けられているものであり、前記ハンガーを利用して洗濯物を干して乾燥するのに用いられる。
【０００３】
図１は、従来の洗濯乾燥台を示すものであり、一般的な洗濯乾燥台は、一定太さの鉄材パイプをＣ字形に折り曲げて２つの乾燥部１０と２つの脚部２０を作り、これらの両端を鉄材パイプからなる中心軸３０に回転可能に連結する。
【０００４】
このように乾燥部１０と脚部２０を中心軸３０に連結するために、中心軸３０の両端には雌ネジが備えられた締結具を嵌め込み、各腕１０と脚２０の両端には各々連結片５０を連結し、これらの連結片５０の中央に形成された中央孔を通過する雄ネジ６０で雌ネジ４０に締結した。
【０００５】
上記のように構成された従来の洗濯乾燥台は、洗濯物の乾燥後、保管する時に「くの字」形状で広げられた脚を一字に折り畳んだ後、脚の外側に乾燥部を折り畳んで壁にもたれるようにして保管した。
【０００６】
しかし、前記のような洗濯乾燥台は、乾燥部と脚部をＣ字形に折り曲げて製作することによって、折り畳んでも所定の体積を有するので保管時に別途の補間場所が必要な問題点がある。
【０００７】
また、移動時に乾燥部を折り畳めば、乾燥部が下向きに折り畳まれるため、長い洗濯物は底に触れて汚染され、再び洗濯しなければならない問題点もある。
また、室外で乾燥しようと移動する時、乾燥部と脚を全て折り畳んでから移動可能であるため、折り畳んだり広げたりする煩わしさがある。
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００８】
本発明は、前記のような従来の問題点を解消するために発明されたものであり、次のような目的を有する。
本発明は、乾燥部の両側に「くの字」形状で締結された脚を内側に互いに重なるように折り畳めるようにし、乾燥台を脚部と水平になるように折り畳めるようにして、本発明の体積を最小化して狭い空間にも保管できるようにすると共に、脚と乾燥部を折り畳むことによってベランダまたは庭から室内への移動を簡便にできるようにした洗濯乾燥台を提供することにその目的がある。
【課題を解決するための手段】
【０００９】

前記のような目的を達成するために、本発明は、次のような構成を有した実施形態によって実現される。

本発明の第１実施形態によれば、洗濯乾燥台は洗濯物を乾燥する時、所定の高さをなして洗濯物が地面に触れることを防止する脚部１００；脚部１００の上部に締結され、ハンガー紐が締結され、洗濯物をかけて乾燥できるようにした乾燥部３００；脚部と乾燥部を締結してなる洗濯乾燥台を壁面にかけて保管できるようにした掛け具５００；および乾燥部３００にかぶせて唐辛子などを干すようにした乾燥網７００；を含むことを特徴とする。

【００１０】

本発明の第２実施形態によれば、洗濯乾燥台の脚部１００は、洗濯物を乾燥する時に「くの字」形状で広げられて乾燥部３００を支持するものであり、高さを調節できるように中空管を多段で連結するが、複数の孔（１１１－１、１１３－１）を貫通するように形成した後、固定ピン１１５を利用して固定、すなわち、第１段脚１１１から第２段脚１１３を引き出して高さを調整するが、第１、２段脚に形成された孔（１１１－１、１１３－１）を一致させた後、固定ピン１１５を孔（１１１－１、１１３－１）に挿入して両脚（１１１、１１３）を固定して高さを調節することができ、脚固定部１３０に一端が締結片１２０を介して締結され、締結片１２０を基点に回動して折り畳むことができる脚１１０；締結部材１５０が挿入される締結孔（１３１－１）が形成され、締結孔（１３１－１）の外側にはヒンジ（１３１－３）が備えられ、締結部材１５０が締結されて回動する胴体部１３１からなる脚固定部１３０；および胴体部１３１の形成されたヒンジ（１３１－３）に加圧して締結され、胴体部１３１に締結された脚１１０の引き出しを制御するものであり、一部突出した突出部１５１が下向く脚を支持して下を向かないようにし、解除時には締結部材１５０のプッシュ部１５３を加圧すれば、ヒンジ（１３１－３）を基点に回動して突出部１５１が胴体部１３１から離脱すると同時に、支持していた脚から離脱して脚が下向きに引き出されるようにする締結部材１５０；を含むことを特徴とする。

【００１１】

本発明の第３実施形態によれば、洗濯乾燥台の乾燥部３００は、脚部１００の上部に締結され、ハンガー紐が備えられ、洗濯物をかけて乾燥できるようにするものであり、脚固定部１３０に形成された締結突起（１３１－５）にスライディングして挿入可能になるように締結レール３１１が形成され、中央に固定ブロック３３０を挿入可能になるように挿入孔３１３が備えられた中央フレーム３１０；中央フレーム３１０に挿入されて横フレーム３５０を連結するものであり、「Ｔ」形状で形成され、突出部３３１は中央フレーム３１０の挿入孔３１３に挿入されて固定され、翼部３３３には各々横フレーム３５０がヒンジ３３５を介して締結され、ヒンジ３３５を基点に回動して折り畳まれるようにする固定ブロック３３０；一端には、固定ブロック３３０にヒンジ３３５を介して締結されるように孔３５１が形成され、一面には、複数の長孔３５３が形成され、ハンガー紐３９０を貫通させて連結し、洗濯物をかけて乾燥できるようにし、他端にも、孔（３５１－１）を形成して、縦フレーム３７０を締結できるようにした横フレーム３５０；および横フレーム３５０の一端に締結されるが、締結突起３７１が形成され、横フレーム３５０に形成された孔（３５１－１）に挿入され、孔（３５１－１）において回動して、横フレーム３５０と同じように折り畳まれる縦フレーム３７０；で構成され、固定ブロック３３０にヒンジ３３５を介して横フレーム３５０を締結し、横フレーム３５０の他端に締結突起３７１を介して縦フレーム３７０を締結した後、横フレーム３５０を前方へ押せば、固定ブロック３３０にヒンジ３３５で締結された横フレーム３５０の一端がヒンジ３３５を基点に回動すると同時に横フレーム３５０の他端に締結突起３７１を介して締結された縦フレーム３７０が孔（３５１－１）において回転して前方に前進しながら折り畳まれることを特徴とする。

【００１２】

本発明の第４実施形態によれば、洗濯乾燥台の掛け具５００は、前記洗濯乾燥台を折り畳んだ後に壁面にかけて保管できるようにするものであり、壁面に固定部材（図示せず）

を介して固定できるように締結孔５１１が形成された胴体部５１０と、胴体部を延長するが、上部に折り曲げて固定ブロック３３０の翼部３３３に形成された掛け突起３３７が載置する載置部５３０とからなり、掛け具５００を胴体部５１０に形成された締結孔５１１を介して固定部材（図示せず、ネジ、クギなど）で壁面に固定し、使用が終わった洗濯乾燥台を折り畳んだ後、翼部３３３に形成された掛け突起３３７を掛け具５００の形成された載置部５３０に締結して洗濯乾燥台を壁面に保管できるようにすることを特徴とする。

【００１３】

本発明の第５実施形態によれば、洗濯乾燥台は乾燥部３００を脚固定部１３０から分離した後、乾燥網７００をかぶせ、底に敷いて乾草などを干すことができるようにすることを特徴とする。

【発明の効果】

【００１４】

本発明は、前述した構成によって次のような効果を有する。

本発明の乾燥部の両側に「くの字」形状で締結された脚を内側に互いに重なるように折り畳めるようにし、乾燥台を脚部と水平になるように折り畳めるようにして、本発明の体積を最小化して狭い空間にも保管することができる効果を有する。

また、脚の長さを調節できるようにし、扁平ではないところにおいても水平をなして洗濯物を乾燥することができる効果を有する。

さらに、乾燥部を脚から分離した後に乾燥網をかぶせ、唐辛子などを干すことができる乾燥台として使用できる効果を有する。

なお、脚と乾燥部を折り畳むようにすることにより、ベランダまたは庭から室内への移動を簡便にできる効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【００１５】

【図１】従来の洗濯乾燥台を示す斜視図である。

【図２】本発明に係る洗濯乾燥台を示す分解斜視図である。

【図３】本発明に係る洗濯乾燥台を示す斜視図である。

【図４ａ】本発明に係る洗濯乾燥台の要部拡大図である。

【図４ｂ】本発明に係る洗濯乾燥台の要部拡大図である。

【図４ｃ】本発明に係る洗濯乾燥台の要部拡大図である。

【図４ｄ】本発明に係る洗濯乾燥台の要部拡大図である。

【図５ａ】本発明に係る洗濯乾燥台の使用状態図である。

【図５ｂ】本発明に係る洗濯乾燥台の使用状態図である。

【発明を実施するための形態】

【００１６】

以下、添付図面を参照し、前述した実施形態の構成をより詳細に説明する。

本発明の要旨を不要に濁す恐れのあると判断される公知機能および構成に対する詳細な記述は省略する。

【００１７】

本発明は、大きく、洗濯物を乾燥する時、所定の高さをなして洗濯物が地面に触れることを防止する脚部１００と、前記脚部１００の上部に締結され、ハンガー紐が締結され、洗濯物をかけて乾燥できるようにした乾燥部３００と、脚部と乾燥部を締結してなる洗濯乾燥台を壁面にかけて保管できるようにした掛け具５００、および乾燥部３００にかぶせて唐辛子などを干すようにした乾燥網７００で構成される。

【００１８】

前記脚部１００は、洗濯物を乾燥する時、「くの字」形状で広げられ、以下で説明する乾燥部３００を支持するものであり、地面から乾燥部３００を所定の高さになるようにして洗濯物が地面に触れることを防止する脚１１０と、脚１１０が締結され、回動する脚固定部１３０とからなっている。

【００１９】

前記脚１１０は、高さを調節できるように中空管を多段で連結するが、複数の孔（１１１－１、１１３－１）を貫通するように形成した後、固定ピン１１５を利用して固定できるようにした。

【００２０】

すなわち、第１段脚１１１から第２段脚１１３を引き出して高さを調整するが、第１、２段脚に形成された孔（１１１－１、１１３－１）を一致させた後、固定ピン１１５を孔（１１１－１、１１３－１）に挿入して両脚（１１１、１１３）を固定して高さを調節する。

【００２１】

前記脚（１１１、１１３）は、以下で説明する脚固定部１３０に一端が締結片１２０を介して締結され、締結片１２０を基点に回動して折り畳まれる。

【００２２】

脚固定部１３０は、脚１１０の一端が締結片１２０を介して締結され、締結片１２０を基点に回動して折り畳まれるようにしたものであり、胴体部１３１に締結部材１５０が挿入される締結孔（１３１－１）が形成され、締結孔（１３１－１）の外側にはヒンジ（１３１－３）が備えられており、締結部材１５０が締結されて回動する。

【００２３】

締結部材１５０は、胴体部１３１の形成されたヒンジ（１３１－３）に加圧して締結され、胴体部１３１に締結された脚１１０の引き出しを制御するものであり、一部突出した突出部１５１が下向く脚を支持して下を向かないようにする。

【００２４】

解除時には、締結部材１５０のプッシュ部１５３を加圧すれば、ヒンジ（１３１－３）を基点に回動して突出部１５１が胴体部１３１から離脱すると同時に、支持していた脚から離脱して脚が下向きに引き出される。

【００２５】

すなわち、胴体部１３１にヒンジ１２０で締結された脚１１０を折り畳んだ後、締結部材１５０のプッシュ部１５３を引けば、ヒンジ（１３１－３）を基点に回動し、締結部材１５０が胴体部１３１に形成された締結孔（１３１－１）に挿入されることによって、脚１１０が締結部材１５０の突出部１５１の上部に位置することで、脚１１０が突出部１５１によって下向かないのである。

【００２６】

また、脚を引き出す時には、締結部材１５０のプッシュ部１５３を加圧すれば、ヒンジ（１３１－３）を基点に回動し、締結部材１５０が胴体部１３１に形成された締結孔（１３１－１）から離脱し、その後、ヒンジ１２０を基点に脚を回動させて引き出した後、締結部材１５０のプッシュ部１５３を引くと、ヒンジ（１３１－３）を基点に回動し、締結部材１５０が胴体部１３１に形成された締結孔（１３１－１）に挿入されることによって、脚１１０が締結部材１５０の突出部１５１の一端にかかって折り畳まれないようになる。

【００２７】

前記乾燥部３００は、脚部１００の上部に締結され、ハンガー紐が備えられ、洗濯物をかけて乾燥できるようにしたものであり、乾燥部３００を脚部１００に締結する中央フレーム３１０と、中央フレーム３１０に挿入されて横フレーム３５０を連結する固定ブロック３３０と、中央フレーム３１０を中心に左右、上下に締結される横フレーム３５０と、横フレーム３５０の両端に各々締結される縦フレーム３７０とからなる。

【００２８】

中央フレーム３１０は、脚固定部１３０に形成された締結突起（１３１－５）にスライディングして挿入可能になるように締結レール３１１が形成され、中央に固定ブロック３３０を挿入可能になるように挿入孔３１３が備えられている。

【００２９】

固定ブロック３３０は、中央フレーム３１０に挿入されて横フレーム３５０を連結する

ものであり、「Ｔ」形状で形成され、突出部３３１は中央フレーム３１０の挿入孔３１３に挿入されて固定され、翼部３３３には各々横フレーム３５０がヒンジ３３５を介して締結され、ヒンジ３３５を基点に回動して折り畳まれる。

【００３０】

横フレーム３５０の一端は、固定ブロック３３０にヒンジ３３５を介して締結されるように孔３５１が形成され、一面には、複数の長孔３５３が形成され、ハンガー紐３９０を貫通させて連結して、洗濯物をかけて乾燥できるようにし、他端にも、孔（３５１－１）を形成して、縦フレーム３７０を締結できるようにした。

【００３１】

縦フレーム３７０は横フレーム３５０の一端に締結されるが、締結突起３７１が形成され、横フレーム３５０に形成された孔（３５１－１）に挿入され、孔（３５１－１）において回動して、横フレーム３５０と同じように折り畳まれる。

【００３２】

すなわち、固定ブロック３３０にヒンジ３３５を介して横フレーム３５０を締結し、横フレーム３５０の他端に締結突起３７１を介して縦フレーム３７０を締結した後、横フレーム３５０を前方へ押せば、固定ブロック３３０にヒンジ３３５で締結された横フレーム３５０の一端がヒンジ３３５を基点に回動すると同時に、横フレーム３５０の他端に締結突起３７１を介して締結された縦フレーム３７０が孔（３５１－１）において回転して前方に前進しながら折り畳まれる。

【００３３】

前記乾燥部３００は、脚固定部１３０から分離した後に乾燥網７００をかぶせ、底に敷いて乾草などを干すこともできる。

【００３４】

掛け具５００は、前記洗濯乾燥台を折り畳んだ後に壁面にかけて保管できるようにするものであり、壁面に固定部材（図示せず）を介して固定できるように締結孔５１１が形成された胴体部５１０と、胴体部を延長するが、上部に折り曲げて固定ブロック３３０の翼部３３３に形成された掛け突起３３７が載置する載置部５３０とからなる。

【００３５】

この時、前記掛け具５００を介して洗濯乾燥台を壁面にかけて保管する過程は、掛け具５００を胴体部５１０に形成された締結孔５１１を介して固定部材（図示せず、ネジ、クギなど）で壁面に固定し、使用が終わった洗濯乾燥台を折り畳んだ後、翼部３３３に形成された掛け突起３３７を掛け具５００の形成された載置部５３０に締結して洗濯乾燥台を壁面に保管する。

【００３６】

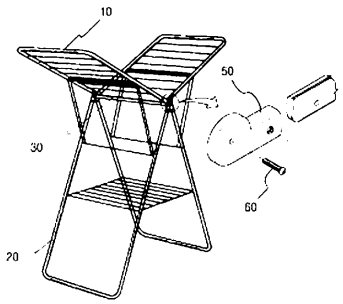
以上で説明した本発明は、前述した実施形態および添付図面によって限定されるものではなく、本発明の技術的思想を逸脱しない範囲内で様々な置き換え、変形および変更ができるということは本発明の属する技術分野で通常の知識を有する者に明らかなことである。

【符号の説明】

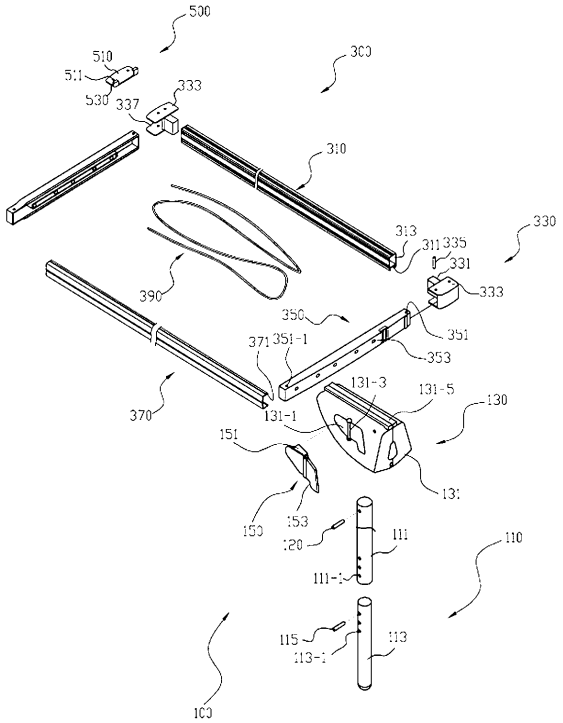
【００３７】

１００　・・・脚部
３００　・・・乾燥部
５００　・・・掛け具
７００　・・・乾燥網

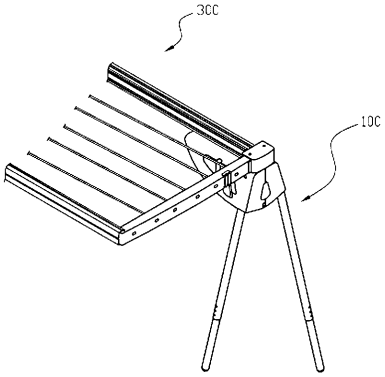
【図１】


10
50
30
60
20

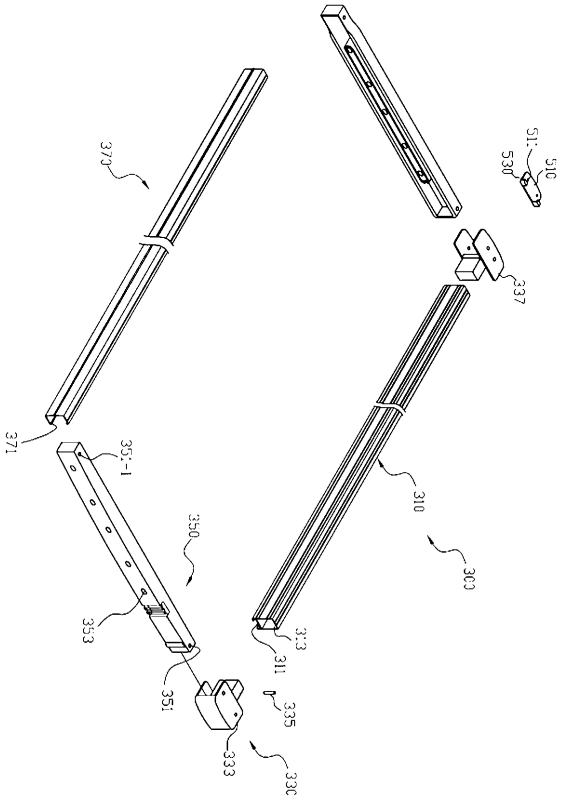
【図２】


500
510
511
530
337
333
300
310
313
311
335
331
330
333
390
350
351
353
371
351-1
370
131-1
131-3
131-5
130
151
131
153
150
120
111
111-1
110
115
113-1
113
100

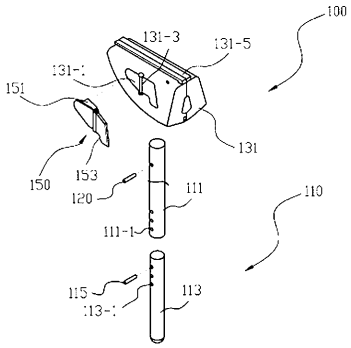
【図３】


300
100

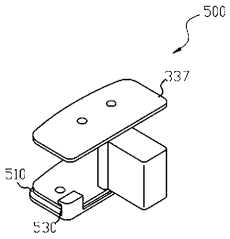
【図４ａ】


371
510
530
337
371
351-1
350
353
310
300
313
311
335
351
333
330

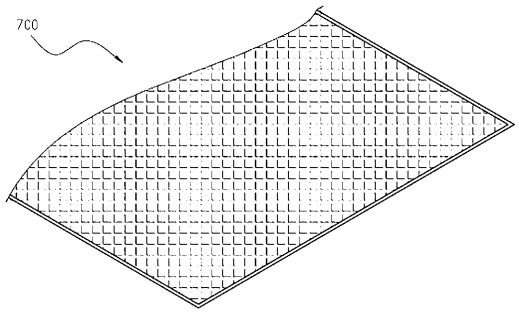
【図４ｂ】



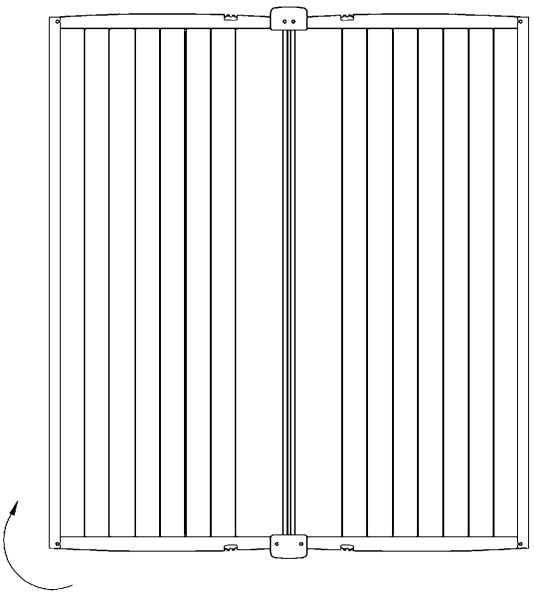
【図４ｃ】



【図４ｄ】



【図５ａ】



【図５ｂ】

